

2021年9月3日（金）

サステナビリティアクション  
『グリーンキッズ 2021・夏～東京湾の生きもの観察ツアー～』の実施  
報告レポート

横浜・八景島シーパラダイスでは8月18日（水）、19日（木）に「グリーンキッズ 2021・夏～東京湾の生きもの観察ツアー～（以下、グリーンキッズ）」と題した環境啓発を目的としたガイドツアーを実施しました。

「グリーンキッズ」とは、横浜市の温暖化対策統括本部主催の小・中学生を対象とした環境啓発イベントです。温暖化対策統括本部では海洋資源を活用した温暖化対策プロジェクト「横浜ブルーカーボン事業」に取り組んでおり、「ワカメの地産地消」や「海水ヒートポンプの活用」等による二酸化炭素削減効果によりカーボンオフセットを行っています。今回のグリーンキッズでは、今年7月にリニューアルオープンした水族館「うみファーム」で東京湾内に生息する生きものを観察したり、実際に採取したりしながら、食物連鎖や生物多様性、海藻の重要性などについて学び、1日目10組35名、2日目10組24名の方にご参加いただきました。

<1日目>

初日は心地よい風が吹く晴天でした。はじめに「うみファーム」内のオーシャンラボをスタッフのご案内しました。実際にクラゲやイガイなどの生きものにふれたりしながら、生物多様性や生態などについて楽しく学びました。

参加した方からも「東京湾にクラゲが生息していることを初めて知り、さわった感触が意外に硬くてびっくりした」「東京湾にいろんな生きものがすんでいるのを知ることができた」とお話しいただきました。

<2日目>

2日目も天候に恵まれました。「うみファーム」に漂着したごみを展示した水槽をご覧いただき、海洋ごみの問題についても学んでいただきました。「ごみは持ち帰る」。1人1人の意識が高まっていくように感じました。

アマモの水槽では、海のゆりかごとして小さい魚たちのすみかになっていること、それが食物連鎖に繋がること、二酸化炭素削減（カーボンオフセット）につながることに学ばれました。

今後ともこうした活動を通じ、多くの方に環境問題について考えるきっかけを提供して参ります。

